

功績・功労をたたえて

●第49回衆議院議員総選挙に係る総務大臣表彰

坂根 道崇さん

坂根道崇さん（石川）は、平成20年10月に与謝野町選挙管理委員会委員に就任され、現在まで約13年にわたり在職し、また、26年6月からは同委員会の委員長として、各種選挙において適正

かつ円滑な管理執行にご尽力されました。この功績が認められ、この度、第49回衆議院議員総選挙に係る総務大臣表彰が授与されました。長年のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。



●旭日単光章（叙勲）

依田 米一さん

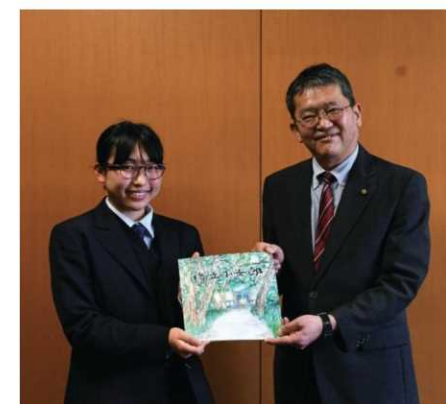
依田米一さん（金屋）は、昭和45年12月に加悦町議会議員に初当選されて以来、57年12月までの3期12年にわたり在職され、加悦町議会副議長等の要

職を歴任され、町政並びに地方自治の発展および住民福祉の向上に多大な貢献を果たされました。長年のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。



高校生手作りの絵本を寄贈いただきました

丹後の民話「橋立小女郎」 社会教育課 ☎ 43-9026



長島教育長（右）に絵本を手渡す伴海さん（左）

4月5日、宮津天橋高等学校宮津学舎3年の伴海（なみ）さん（三河内）から、自身が手がけた絵本を町内の図書館や学校などに寄贈いただきました。

昨年「総合的な探究の時間」の授業を活用して、小学生のときから夢だった絵本作成に挑戦。天橋立を舞台にした「橋立小女郎」を基に、地域の方にヒアリングを行い自身でストーリーを考え、絵付けを行ない、総合地球学研究所の支援を受けて完成しました。伴海さんは「多くの方に協力をしていただき完成した絵本。この絵本を読んだ子どもたちが、丹後の歴史に触れるたびに思い出してくれる絵本になってほしい」と話してくれました。この度のご寄贈、誠にありがとうございました。

地域おこし協力隊通信 ⑥7

魅力化コーディネーター 長谷川隊員 社会教育課 ☎ 43-9026



宮津天橋高校加悦谷学舎（以下、「加悦谷」）で活動している地域おこし協力隊の長谷川です。

以前もお伝えしましたが、改めて私が関わる高校魅力化推進事業（以下、「本事業」）の概要と高校生の可能性についてお話しします。

本事業は、町の最高学府であり、唯一の高校である加悦谷で展開している事業です。高校が町からなくなると、人口減少や少子化がさらに加速することが分かっていきます。それを緩和するためにも、町にとって加悦谷は非常に大切な資源の一つです。加悦谷の発展が町の発展にもつながることから、府立高校であつ



小学生にトレーニング指導をする生徒

ても町として、本事業をとおして加悦谷を応援しています。

私はこの3年、微力ながら高校生が地域のヒト・モノ・コトに触れる機会を作ってきました。その中で、高校生の力がいかに地域に力を与えるものか、その可能性を見てきました。今回は、その事例を2つ紹介します。

ひとつは、加悦谷の生徒が小学生にトレーニング指導をするスポーツ交流

もうひとつは、織物に興味を持ち、放課後に織物技能訓練センターで講習を受けた生徒。織物の先生が生徒の熱意に刺激されて「頑張ってくれる若い人がいるなら、いく



織物の基礎を学ぶ生徒

流。高校生からトレーニング指導が受けられることに焦点が当てられることが、それ以上に、スポーツ交流時の高校生のさわやか、かつ、はつらつとしてテキパキと動く姿、その姿を児童が目にしたりにすることが、児童たちにとって非常に大きな経験となります。高校生は児童にとって「自分たちが大きくなった姿」をイメージしやすい身近な存在として、児童たちに影響を与えています。

もうひとつは、織物に興味を持ち、放課後に織物技能訓練センターで講習を受けた生徒。織物の先生が生徒の熱意に刺激されて「頑張ってくれる若い人がいるなら、いく

お悔やみ

（敬称略）

町内に配布している広報紙には掲載しています。

町内に配布している広報紙には掲載しています。

おめでとうございます
（敬称略）



まちのうごき

令和4年3月末現在

人 □ 20,438人（-137）
男 9,799人（-79）
女 10,639人（-58）
世帯数 8,957戸（-21）

※括弧内は前月比